

**令和6年度 施設指定管理者
モニタリングレポート(年次評価報告書)**

施設名	西部児童館
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 (2期5年目)
所管課	子育て支援課

1 業務履行の確認・評価

		年次評価
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。		B
【施設の運営に関する基本的事項】		
<ul style="list-style-type: none"> 日々開所時間を遵守し、適切な人員配置を厳守した。 建物の老朽化が進む中、日々の清掃業務や保守点検をこまめに行い、修繕箇所が生じた場合は速やかに対応し、安全面に細心の注意を払いながら運営を行った。 利用者数が前年度比▲22.3%であった(全館平均▲16.4%)。 		
【自主事業に関する事項】		
<ul style="list-style-type: none"> 夏休みのイベントでは、児童の投票で決めた映画の鑑賞会を開催。82名(内一般47名)もの参加があり、興味関心の高さがうかがえた。 他館と合同の親子教室を開催。他の児童館の利用者との交流を深めることができた。 		
【施設の維持管理業務に関する事項】		
<ul style="list-style-type: none"> 遊戯室の雨漏り修繕、女子トイレのドア修理を補修を速やかに行った。 カーペット清掃、樹木剪定、駐車場の草刈りを行った。 		

2 サービスの質に関する評価

		年次評価
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。		A
【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】		
<調査の概要> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年2~3月に利用者アンケートを実施。 <調査結果の概要> <ul style="list-style-type: none"> 利用者からは、感謝の声が多数寄せられた。 親子で楽しく過ごせる場として、手遊びやふれあい遊びが家庭でも活用でき、子どもの成長や保育園へのスムーズな適応にも役立っていると評価されている。 一方で、おむつ替えスペースの設置や長期休暇中の小学生と乳幼児の遊び場の分離を要望する声や、トイレの暗さや寒さへの対応を求める声もあった。 		
【自主事業に関する事項】		
<ul style="list-style-type: none"> 映画上映会では、上映作品を子どもの投票で決める方法を採用し、「子ども主体の運営」を具体的に実現した。 他館との合同企画を成功させた点は、児童館間の協力関係の深化に繋がった。 		
【サービス水準や利用環境に関する事項】		
<ul style="list-style-type: none"> 昨年末実施のアンケート結果を取り入れて、幼児向け手形イベントを行ったり、幼児コーナーの掲示物を工夫したりした。また、親子教室に更生保護女性会を講師として招き、地域の方との交流も深めることができた。 他館と合同で親子教室を実施。地域を超えた交流を行うことができた。 		

3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。	年次評価 B
【施設の収支状況に関する事項】 西部・南部・ひまわり児童館 共通事項 ・指定管理料(令和6年度決算額48,800,000円)の中では館自体の事業収支は赤字であるものの、企業全体としての事業収支は安定しており、継続的にサービスを提供することができている。	
【団体の経営状況に関する事項】 西部・南部・ひまわり・コスモス児童館 共通事項 (株)ポピンズエデュケアの経営状況の分析 ・第38期(2024年1月1日～2024年12月31日)の損益計算書では、売上高が前期より増加している。 ・売上高から売上原価を差し引いた売上総利益金額、販売費及び一般管理費、営業利益も前期より増加している。 ・特別損失の減損損失があることにより当期純利益金額がマイナスとなっている。 ・貸借対照表の純資産の合計から、財務内容は良いと言える。	

総合評価	A	【審査委員会コメント】 日頃の遊びのルール作りや、夏休みイベントなどの機会を通して、子どもが主体的に経験を積む場を提供してきたという点において、教育的意義を持った非常に特徴的な取組を行ってきたといえる。一方、職員が利用者とのコミュニケーションを重視し、積極的に声掛けを行っている姿勢は、利用者アンケートでも評価されており、このことにより、利用者との信頼関係の構築や安心感の提供が促進されている点も高く評価できる。 これらの取組は、地域社会における児童館の役割を深化させたといえる。
------	----------	--

【年次評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A (良 好) : 区分評価が全てA以上。
- B (課題あり) : 区分評価にBがあった。
- C (要改善) : 区分評価にCがあった。

【総合評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。
- A (良 好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。
- B (課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。
- C (要改善) : サービスの内容に改善が必要である。